

2025年度 博士前期課程入学者選抜(Ⅰ期)  
学 力 検 査

外国語(英 語)

I. *Read the text and then answer the questions in English. Use your own words and expressions.*

著作権の関係上、掲載していません。

Excerpts taken from: Morris, J. (2024) A 'heathenish liquor'? A cure for cancer? The history of coffee is full of surprises, *Guardian*, Tue 2 Apr 2024

## Questions

1. How did coffee drinking become widespread in the Ottoman Empire?
2. What was the selling point of coffee in 17th century London?
3. What were the opinions against coffee in the 17th century?
4. What did Mr. Post do?
5. What are the results from US court cases regarding coffee drinking?



2025年度 博士前期課程入学者選抜（I期） 学力検査  
外国語（英語）

《解答・解答例》

論述試験のため出題の狙い・評価のポイントを示す。

I 英文は英国で発行されている『ガーディアン』紙からの抜粋で、英国における飲み物としてのコーヒーの社会的、医学的な歴史であり、いわばコーヒーの文化史といえる。このようなトピックは受験生の専攻分野外のものであるが、これは既成知識に左右されない分野の英語を読んで読解ができているかを、公平に見るためである。

非常に語彙のレベルが高いので、解答者はすべての未知の単語を辞書で調べる時間はなく、文の重要点に関わる語だけを引かねばならない。英文読解に必要な、キーワード、キーセンテンスを見抜く力、談話標識等から論理的にパラグラフの内容を推察する力、そして文章全体の大意をパラグラフ間の構成を考えながら読み取ることができているかを採点のポイントとしている。より具体的には次の通りである。

Question 1 問題文の第2パラグラフに書かれているコーヒーの起源についての叙述を要約する問題。Intoxicating等の語彙が正確に理解できているかが採点のポイントとなる。

Question 2 問題文の第3、第4、第5パラグラフに書かれている17世紀ロンドンにおけるコーヒーの売り文句についての理解を問う問題。prescribe, digestive, fortify等の語彙が正確に理解できているかが採点のポイントとなる。

Question 3 問題文の第6パラグラフに書かれている17世紀ロンドンにおけるコーヒーに対する反対意見の内容を問う問題。impotent, unfruitful等の語彙が正確に理解できているかが採点のポイントとなる。

Question 4 問題文の第7パラグラフに書かれているポスト氏のコーヒーを批判する広告についての叙述の理解を問う問題。scourge等の語彙が正確に理解できているかが採点のポイントとなる。

Question 5 問題文の最後のパラグラフに書かれているアメリカ合衆国の法廷での判決の内容とその結果を問う問題。rogue, overturn等の語彙が正確に理解できているかが採点のポイントとなる。

II 幼児の発達において、「遺伝」と「環境」は不可分であるということを示唆した文である。採点では、まず、内容において、この筆者の意見を理解できているかが大きなポイントになる。また、書かれた英語については、簡単な表現でも、ミスの少ない解答に高い評価を与えた。「内容」と「英語」、それぞれ50%の配点である。

《出題の意図》

I 大学院生としての研究に必要な、英語文献や論文の読解力を測る問題である。まとまった分量の英文の要点を把握して、内容を適切に理解できるかが問われている。

II 大学院生として、研究結果を英語で発信する能力を問う問題である。自分の考えをまとめ、簡潔に英語で表現する作文力が求められている。